- ■大雨(次項参照)による名神高速(上下線)養老JCT~関ヶ原IC間が通行止め時に、開通した東海環状(大垣西IC~養老JCT)を約13百台が乗り継ぎ利用し、迂回路として機能発揮(※1)
- ■東海環状の開通前に比べ、<u>一般道迂回距離が約11km短縮</u> (開通前ならば、名神高速大垣IC~関ヶ原IC間が通行止めとなり、国道258号+21号を利用する ため大垣市街地部を通過していましたが、大垣西IC活用により大垣市街地への交通の流入も低減 したと推測されます。)
- ■東海環状の大垣西IC出入り交通量は、通常時(※2)の約2.2倍(※2) 次の日の同時間帯との比較



■※1 乗り継ぎの状況

【東環:大垣西ICでの乗り継ぎ】 ○証明書発行数は約150枚 ○ETC乗り継ぎ 1,185台

■※2 インター出入り交通量の状況

【東環:大垣西IC出入交通量】

①通行止め時: 2,200台 ②通常時 : 1,000台

差(①-②) +1,200台(約2.2倍)

【名神:大垣IC出入交通量】

①通行止め時:8,600台

②通常時 : 5,900台

差(①-②) +2,700台(約1.4倍)

※通行止め時:9/18 15:00~24:00 の交通量
※通常時:9/19(平日)15:00~24:00 の交通量

名神高速道路通行止め時の迂回利用

資料4(参考)

- ■台風16号の影響により、大気の状態が不安定となり岐阜県西濃地域を中心に大雨
- ■この大雨により平成24年9月18日14:15から名神高速道路(上下線)の養老JCT~関ヶ原IC間が通行止め。同日17:45からは関ヶ原IC~米原JCT間も同時に通行止め。(9月19日1:30に解除)

